

授業科目

視覚機能検査学I

担当教員名 村田 憲章、前田 史篤	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

臨床の現場において治療方針の決定などに用いる検査の基礎的な技術や検査を行うための眼科的知識などについて講義する。

授業の目的

眼科検査（入力系および統合系）の基本となる各検査の結果の意味とその評価について理解することを目的とする。

学習目標

1. 主訴にもとづいて必要な眼科検査が計画できる。
2. 眼科検査の目的、原理、原則が理解できる。
3. 眼科検査のデータを正しく読み取ることができる。
4. 入力系、統合系、出力系検査が区別できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス 自覚的屈折検査	講義	村田 憲章
2	乱視の屈折矯正（放射線乱視表）	講義	村田 憲章
3	乱視の屈折矯正（クロスシリンドラ）	講義	村田 憲章
4	他覚的屈折検査 赤緑試験	講義	前田 史篤
5	特殊な視力検査	講義	前田 史篤
6	眼圧検査	講義	村田 憲章
7	logMARとデシベルの考え方	講義	前田 史篤
8	小括1	講義	前田 史篤
9	特殊な視野検査	講義	村田 憲章
10	眼底検査、光干渉断層計	講義	村田 憲章
11	蛍光眼底造影検査	講義	村田 憲章
12	小括2	講義	村田 憲章
13	固視検査	講義	前田 史篤
14	心理物理学、閾値の概念	講義	前田 史篤
15	まとめ	講義	村田 憲章、前田 史篤

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円＋税	
	眼科検査ガイド 第2版		文光堂	2016年		2016年春に発売予定
参考書						
その他の資料	視覚機能学実習I 配付資料			2015年		

評価方法

定期試験 70%
小試験 20%
提出物 10%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日 昼休み
P201
murata@nuhw.ac.jp